



## 多くの皆さんに利用してもらっている 産後ケア事業の利用をさらに促します

～令和6年生駒市議会（第5回）定例会に補正提出～

令和6年生駒市議会（第5回）定例会において、産後ケア事業に要する経費について、当初の想定を大きく上回る利用があり、さらに利用していただきたいことから、歳出616万2千円、歳入769万2千円の補正予算を提出します。

### ■ 産後ケア事業とは

**目的：**産褥期の母親と乳児が心身の安定と育児不安を解消し、安心して子供を産み育てられる環境を整えることを目的に、地域の助産院や産科医療機関等と連携し、平成28年10月から実施しています。

**対象者：**産後ケアを必要とする出産後1年以内の母親及び乳児  
(流産や死産を経験された女性も対象です。)

**内容：**母親への身体的ケア、心理的ケア、適切な授乳等育児の手技についての具体的な指導及び相談など。本市では、ショートステイ（短期入所）とデイケア（通所）を実施しています。

**利用料(自己負担)：**

ショートステイ 1泊当たり6,000円（利用上限6泊）

デイケア 1日当たり3,000円（利用上限7日）

乳児1人当たり、自己負担金の支払いに利用できるクーポン券（2,500円）を5枚配付しています。

**施設：**15施設。うち生駒市内4施設（裏面参照）

### ■ 増額補正が必要となった背景

- ・令和5年度に利用要件を大きく緩和し、支援を希望する人は誰でも利用できるようになりました。
- ・あわせて、令和5年度からクーポン券の配付を始め、積極的な利用へのPRを実施
- ・本年5月に市内4施設目となる助産院が開設され、対象者にとって、身近に気軽に利用できる施設が増えました。

これらの理由から、当初想定していた数を大幅に上回る利用があり（下表参照）、予算の増額が必要となりました。

### ■ 利用実績の推移

	令和元年度	令和5年度	令和6年度 (上半期のみ)	(予算)
ショートステイ	34泊	88泊	109泊	(100泊)
デイケア	9日	46日	190日	(63日)

## ■ 利用者の声（利用者アンケートから抜粋）

- ・丁寧な相談に答えていただいたり、わからないことを教えていただいたりした。
- ・里帰りできない環境で、家では動かざるを得ないことが多かったので、産後ケアでゆっくりとすることができた。
- ・助産師さんからも色々教えていただけた。
- ・子どもがNICUに入っていたこともあり、一緒に過ごすことに不安を感じていたので利用できて良かった。
- ・授乳指導や沐浴など不安なところを気軽に聞けたので良かった。
- ・自分のペースで子どもと安心して過ごすことができたので良かった。

## ■ 利用施設（生駒市内のみ）

施設名	住所	備考
生駒市立病院	東生駒1丁目6-2	産後2か月未満まで利用可 ショートステイのみ実施
杉江産婦人科	元町1丁目11-3	自院出産の方で産後の入院継続としての利用に限り利用可
葉ノ月助産院	小明町2112-3	デイケアのみ実施
林産婦人科 登美ヶ丘医院	鹿畑町55-1	自院出産の方で産後4か月未満まで利用可

## ■ その他の取組み

本市では、令和5年度から、妊婦健康診査補助金額の上限額引き上げ（92,000円→110,000円）や、出産後の産婦健診（5,000円×2回）及び新生児に必要な健診等（1か月児健診：上限5,000円、新生児聴覚検査：上限5,000円）に係る費用助成を開始しています。

さらに、令和6年度から、産前産後の家事支援サービスの利用支援として、妊娠中の人か1歳未満（利用日現在）のこどもがいる世帯を対象に、2万円分のクーポン券（1,000円×20枚）を交付するなど、安心して子どもを産み・育てられる環境を整えるためにさまざまな支援を行っています。

---

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

奈良県生駒市子育て健康部健康課（課長 渋谷） ☎0743-75-2255